

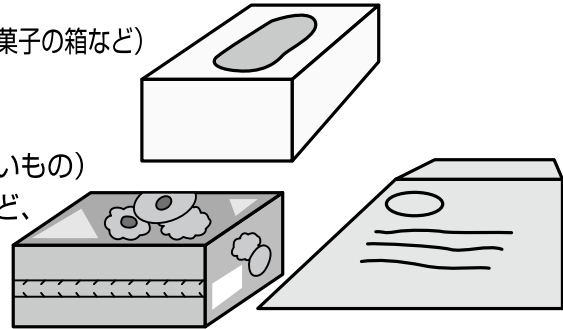
【古紙類（ミックスペーパー）の収集】

1. ミックスペーパーとして収集するもの

他の古紙類（段ボール等）以外で、「汚れていない」「臭いが無い」紙であれば、身の回りにある紙ごみのほとんどをミックスペーパーとして資源化できます。

【例】

- 紙箱（カレー等の食品の紙箱、ティッシュの箱、お菓子の箱など）
- はがき、ダイレクトメール、封筒
- 紙袋、包装紙
- 紙切れ、メモ紙 など（名刺サイズより大きいもの）
- ※ティッシュの箱や、窓付き封筒のセロハンなど、紙以外の部分は取り除いてください。



2. ミックスペーパーの出し方

透明か半透明のビニール袋に入れて出してください（ひもで縛る必要はありません）。

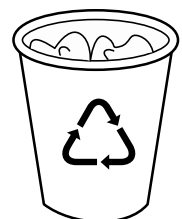
3. ミックスペーパーとして出せないもの

- ・段ボール等の他の古紙類は、従来どおり分別し、ひもで縛ってください。
- ・次のものは「可燃ゴミ」として出してください。

- 表面にビニールやアルミのついている紙、カーボン紙、感熱紙（レシート等）
- 水に溶けない紙（紙コップ等）
- 汚れた紙（汚れを拭いた紙、油を吸った紙等）
- 臭いのついた紙（洗剤・石鹼の箱、線香の箱等）
- 写真、アルバム

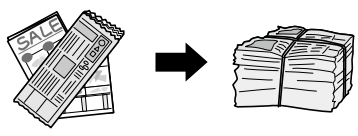
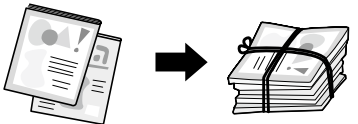
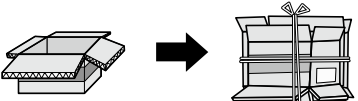

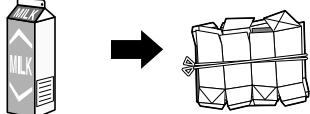
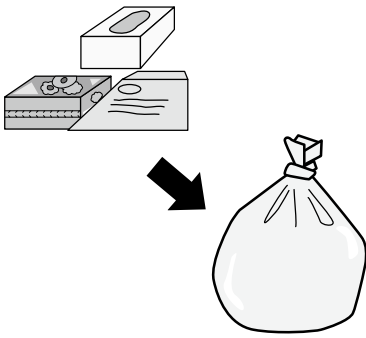
4. お願い

- ◆他の古紙類（新聞、段ボール等）を一緒にしないでください。
⇒ リサイクル方法が異なるため、混在していると収集できません。
- ◆紙袋や封筒に入れるのはやめてください。
⇒ 中身が確認できないため、収集できません。小さい紙等でも構いませんので、バラバラにして透明又は半透明の袋に入れてください。
- ◆ミックスペーパー専用のごみ箱を置き、そのままビニール袋に移すと手間も省けて便利です。



(古紙類の分類表)

従来どおり

項目	品目	注意事項	出し方
新聞	新聞及び折込チラシ		ひもで縛る 
雑誌類	雑誌、カタログ、冊子、書籍、パンフレット、コピー用紙 など		ひもで縛る 
ダンボール	ダンボール	◆ビニールテープ、止め金具は取り除く	中を空にして、つぶしてからひもで縛る 
紙パック	500ml以上で、  紙パック マークのついているもの	◆内側にアルミやビニールがついているものは不可（可燃ゴミとして出す）	中を水で洗って切り開いたものをひもで縛る 
ミックスペーパー	紙箱（カレー等食品の紙箱、ティッシュの箱、お菓子の箱など）、はがき、ダイレクトメール、封筒、紙袋、包装紙、紙切れ、メモ紙など ※名刺サイズより大きいもの	◆汚れていたり、臭いの付いている紙は不可（可燃ゴミとして出す） ◆ティッシュの箱のセロハンなど紙以外の部分は取り除く	透明か半透明のビニール袋に入れて出す 

新規